

令和5年度「地理総合」シラバス

科目名	必修・選択	単位数	類型
地理総合	必修	2	共通
教科書 副教材等	教科書：『高等学校新地理総合』（帝国書院） 『新詳高等地図』（帝国書院） 副教材：『新詳地理資料 COMPLETE 2023』（帝国書院） 『ニューコンパスノート地理 2023』（東京法令出版）		

1 学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

2 学習概要

- ・グローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を地理的な視点で捉えながら、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を身に付ける。
- ・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

3 学習方法

(1) 授業への取組

- ・覚えるべき事項はもちろん覚えなければならない。しかし、暗記することが地理を学ぶ本質ではない。暗記一辺倒ではなく、その事象が起こるしくみをよく理解した上で覚えることが肝要である。常に、「なぜ？どうして？」と追究する姿勢で臨もう。
- ・わからないときは周りの生徒や担当教員に積極的に質問をしよう。不明な部分をそのままにしないで、一つ一つ解決していくことを意識しよう。

(2) 家庭学習

- ・授業前に教科書を一読しておくこと、授業内容がよく理解できる。
- ・日頃からテレビのニュース番組に関心を持ち、取り上げられた場所などを地図帳で調べる。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能 (①)」、「思考力・判断力・表現力 (②)」、「学びに向かう人間性 (③)」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

「知識・技能 (①)」：定期試験・小テスト・レポートノートなど

「思考力・判断力・表現力 (②)」：定期考査・授業プリント・グループでの話し合いなど

「学びに向かう力 (③)」：授業態度・授業中の発言・レポートの内容など

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考力・判断力・表現力 (②)	学びに向かう人間性 (③)
評価基準	我が国及び世界の生活・文化の地域的特色や防災、地域的・地球的課題への取組などに関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けているか。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力やそれらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい（内容のまとめごと）	考查等
一学期	<p>第1部 地図でとらえる現代世界</p> <p>第1章 地図と地理情報システム</p> <p>1節 地球上の位置と時差</p> <p>2節 地図の役割と種類</p> <p>第2章 結び付きを深める現代世界</p> <p>1節 現代世界の国家と領域</p> <p>2節 グローバル化する世界</p> <p>第2部 国際理解と国際協力</p> <p>第1章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>序説 生活文化の多様性</p> <p>1節 世界の地形と人々の生活</p> <p>2節 世界の気候と人々の生活</p> <p>追究事例 自然①・②</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりには、さまざまな一般図と主題図があることを理解する。 GIS や GPS のしくみについて理解し、情報や地図のデジタル化が私たちの生活にどのように役だっているのかを考察する。 情報を地図化する方法を習得し、自分で地図を作成する。 経度の違いと時差のしくみについて、身近な題材や国土が東西に広い国々の事例をふまえて理解する。 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 	<p>中間考查</p> <p>期末考查</p>
二学期	<p>3節 世界の言語・宗教と人々の生活</p> <p>追究事例 宗教①・②</p> <p>4節 歴史的背景と人々の生活</p> <p>追究事例 歴史①～③</p> <p>5節 世界の産業と人々の生活</p> <p>追究事例 産業①～③</p> <p>第2章 地球的課題と国際協力</p> <p>1節 複雑に絡み合う地球的課題</p> <p>2節 地球環境問題</p> <p>3節 資源・エネルギー問題</p> <p>4節 人口問題</p> <p>5節 食料問題</p> <p>6節 都市・居住問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 民族・人種概念を理解したうえで、世界的な課題になっている民族問題・人種問題について考える。 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 他地域との結びつきや地域の特徴などに着目しながら、持続可能な社会をつくるために、今後どのような取組が必要か考える。 	<p>中間考查</p> <p>期末考查</p>
三学期	<p>第3部 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>第1章 自然環境と防災</p> <p>1節 日本の自然環境</p> <p>2節 地震・津波と防災</p> <p>3節 火山災害と防災</p> <p>4節 気象災害と防災</p> <p>5節 自然災害への備え</p> <p>第2章 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>1節 生活圏の調査と地域の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界や日本の各地で発生する自然災害について、その地域の地形や気候といった自然環境との関係性について理解する。 日本が抱える災害（地震・火山の噴火など）について、どのような防災・減災の取り組みが行われているか、情報をまとめて発表する。 防災ゲーム「クロスロード」を活用して、防災に関するジレンマを学び、本来の対策と別の対策の間の葛藤と調節、合意形成における判断を疑似体験し、防災の意識を高める。 	<p>学年末考查</p>